

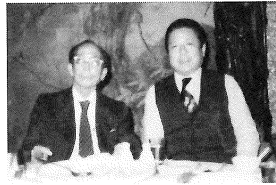
第4章

資料編

夕陽丘賢人会―健人会

玉木先生が「町会の総会だけでなく、集まる会をしたい」との意向を受けて、町会長はじめ役員の賛同を得て賢人会が発足した。雅叙園観光ホテルで実施されたが、開催日と出席者数は次のようであった。

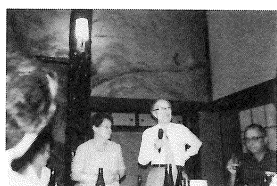
第一回賢人会	昭和五十五年	七月二十六日	三十五名
第二回賢人会	昭和五十五年	十一月二十六日	三十四名
第三回賢人会	昭和五十七年	四月二十六日	二十八名
第四回賢人会	昭和六十一年	十一月二十九日	二十三名
第五回賢人会	昭和六十二年	十一月二十八日	二十一名
第六回健人会	昭和六十三年	十一月二十六日	二十九名
第七回健人会	平成	元年十一月二十七日	三十二名
第八回健人会	平成	二年十一月十八日	二十五名
第九回健人会	平成	三年十二月八日	二十八名
第十回健人会	平成	四年十一月二十七日	二十九名



第五回に「賢人会」はおこがましいとの話が出て「健人会」に変更となった。出席者は夕陽会会員を中心に以下のような方々であった（アイウ順、敬称略）。

アロイジオ神父、栗野誠治、稲葉実・二三子、入沢一男、入谷重郎・公子・英子、岩沢英一、植木殖子・多恵子、内田信彦、梅沢静子、江里口正純・恵、近江谷鎮八郎・友子、奥村一郎・京子、金井玲子、金武典夫・慶子、官有謀・静子、窪田正男・よ志ゑ、熊野包子、鴻田次章、佐藤至弘・久美子、椎野豊・そよ子・二郎、島田勇一・周子・和子、芝山敏子、鈴木亀次郎・良子、仙頭哲夫、高井研次・敬子、高橋宏悦・松子・知子、竹内靖男・順子、滝山敏夫、田中稀一郎・菊子・不美、田中丞・八千世、田中松雄・美代子、玉木正季・琴子、塚田剛蔵・靖子・晴子、長野邦子、南洞邦夫・泰子、難波富枝、西春夫・武子、野崎梅乃、藤井清一・尊子、松井源吾、松本澄子、三浦立巳・恭子、宮内糸子、谷津志津江、八並雪子、山崎隆啓・昭子、与倉三四三、富士子。

◎第十回は建築構造の早稲田大学名誉教授の松井源吾氏（事務所は与倉邸奥）の講演会。他の町会にも呼びかけたので、中丸の浦部八郎氏、



長者丸の南侃氏、斉藤節三氏も参加下さった。東京工大教授故本庄五郎氏（モアレの研究、物理学）夫人も参加された。幻燈を使った画像により、モアレを利用しての構造設計の話であった。

（山人漫評、妄評御免）

◎発案者の玉木正季先生は優しい小児科のお医者さんとして、町内の子供たちがお世話になった。関東通信病院（N T T病院）の一般診療を品川医師会会長として実現した

◎窪田元町会長は元大崎警察の署長であった。朝、通りを坂の下から毎日掃除された。

◎アロイジオ神父は若い時は幼稚園担当で、日本語に堪能でユーモアにあふれた人。

◎入谷さんは三味線の名人、娘、孫に遺伝。

◎梅沢静子さんは実業家。

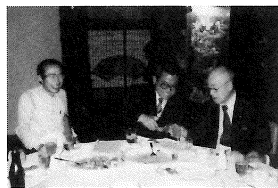
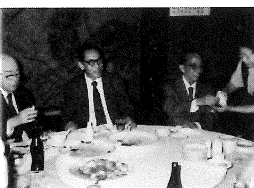
◎近江谷鎮八郎氏は経営コンサルタント。奥さんを亡くされ転居。

◎金武典夫氏は町会長。技術士。工学博士。

◎官有謀氏は台湾の人、足の裏術士。



- ◎熊野包子さん、啓蔵氏は慶應ラグビーの名選手。その家は益田太郎冠者（鈍翁の子、劇評家）の家だった。
- ◎佐藤至弘氏は玉木先生の女婿。夕陽会の歴史地理につき研究。
- ◎椎野そよ子さんは百七歳とか。町内最高。
- ◎高橋知子さんは糸高さん。
- ◎田中稀一郎氏は目黒区、品川TVにやっと入れた。
- ◎田中松雄氏は職人肌の江戸っ子。サンスーシーでご馳走になったなあ。
- ◎塚田剛蔵氏はステンドグラスの傑作あり。
- ◎南洞邦夫氏はドイツオリンピック（ガルミッシュ・パルテンキルヘン）氷上スピード選手。
- ◎難波富枝夫人は日本舞踊を教えた事もある。
- ◎西春夫氏は西和(株)社長を長男に譲る。
- ◎野崎梅乃さんは缶詰の野崎の奥さん。
- ◎三浦立巳夫妻のアロイジオ神父とキーラン神父を招待した席に呼ばれて、ミネソタ子とNY子の掛け合いは面白かった。
- ◎山崎隆啓氏は模型の鉄道を作る趣味。ステレオ・キャビネットを次男



と作ってくれた。

◎谷津志津江さんは生粋の下町っ子。

◎与倉三四三氏は夕陽丘小町の富士子さんのご主人。海軍。娘さんも美人。



夕陽丘親交会

夕陽丘の南三分の一くらいが戦災によって焼失した。それが家々の垣根を取り払い、隣組で知り合い、配給で顔をあわせたので、お互いの親近感が発生した。

バラックが建ちはじめ、生活も大変ながらも少しは落ち着いてきた。講和条約の締結も話題に上るころ、長者丸に青年会が出来たと噂された。それに刺戟されて、四丁目でも青年会を作ろうかということになり、年長者の尾前さんを会長にして発足することになった。

「親交会タイムズ」創刊号（昭和二十六年十月）

題字の右肩に小さく「四丁目」と入っている。編集責任者は中村成克君であった。

会員は、栗野誠治、伊藤章彦、入谷予始子、植木寿一、植木多恵子、植木俊二、尾前正己、尾前清子、奥村一郎、奥村京子、岡野勤、掛貝民

男、島田勇一、椎野二郎、杉野利夫、鈴木千勝、田中稀一郎、竹島貞夫、中村成克、野沢清、牧野健三、牧野昭司、牧野俊雄、牧野健吉、守屋久の二十五名。

新役員名

会 長	尾前正己	副会長	杉野利夫
会 計	奥村一郎	書 記	中村成克
地区委員	野沢 清		粟野誠治

第一面には尾前会長の「健全な若人の会」なる抱負と、なかなか立派な「親交会会則」

第二面には「生きる喜び」五市生の詩的、哲学的文章など載っている。「告知板」◎われらの会長尾前正己氏はこの度公認会計士の特別試験に合格の栄冠を獲得した。◎寄付金 防犯協会と陣内勝一氏より各一〇〇〇円を頂く。

第二号（同年十一月）

第一面は「親交会発会式」十月二十二日午後七時半、ドレスメーカー

図書館で多数の来賓、会員が参集して挙行。陣内勝一氏が区政につき講演した。

「告知板」◎夜警のオジサン武藤富五郎さん、警視庁から表彰される。これまで貰った感謝状は二十通余。強盗窃盗犯逮捕七人◎陣内勝一氏より寄付二千元◎島田宅にて社交ダンス講習会開設。

第三号（十二月）

「親交会チーム快勝」十二月十六日第二回ホワイトローズ戦に九対〇で快勝した。メンバー1（5）牧野昭司、2（6）田中、3（2）尾前（中村）、4（7）新福、5（1）牧野健吉、6（3）牧野俊雄、7（8）岡野、8（4）森屋、9（9）伊藤 ダブルプレー3、安打6、盗塁9

新年特別号第四号（二十七年）

先輩、八並達雄、大野大、牧野司郎、東條健二氏らの挨拶。謹賀新年は、防犯協会岡田栄造、岡千秋、竹島銀一、蓮池維則、野沢治三郎、岡野遼、牧野司郎、島田実、熊野啓蔵、阿部秀助、喜多六平太、塚田公太、

飯塚喜代松。第二面には会員の寄せ書きが何とガリ版で書いてある。印刷の飯塚さんの技術の高さに脱帽。

「クリスマスパーティー」午後二時から始まった子供の会は町内のお子様八十一名が集まり、プレゼントをいただいてから、映画、幻燈、来賓の方のお話、四時散会。午後六時からダンスパーティーには杉野先生お手製のフルーツポンチを頂いたり、島田君その他のデモストレーション、福引など予想以上の大盛況は十一時半まで続いた。寄付も集まった。

「編集」が中村から伊藤、岡野に交代した。

第六号（二十七年三月）

第二期役員、

会 長 奥村一郎 副会長 牧野健三

会 計 尾前正己 書 記 野沢清

地区委員 林実、田中稀一郎

第一〇号（二十七年九月）

第三期役員、

会 長 新福光次

会 計 田中稀一郎 書 記 田中健一郎

今期から役員を簡素化し、また、すべて学生となった。

第十三号（二十八年六月）

第四期役員、

竹島貞夫、野沢清、谷口保澄、尾前清子、奥村京子、東條敦子

会長を決めないで合議制でやったようだ。

十一号、十二号と四ページが続いたが、この十三号は何と八ページであつた。

それに四ページの十四号（七月）が続き、十二月に特別号がB5版四十八ページの雑誌として編集人、竹島、谷口、野沢で発行されて、親交会は終わった。喜多六平太氏が文化勲章を受章した年だつた。

皆、学校を卒業して社会人になったり、忙しくなり、また親睦が進んで麻雀とか、ダンスとかに特化したこともある。

(思) (出)

尾前正己さんの父上は優れた霊能者であって、その占いが当たるとい
うので、多くの信者があり、東京の御岳教の御師達に頼まれて御岳教の
世話役になり看板を出したという。目蒲線駅前前の焼け残った家は神棚の
前に広い部屋があり、親交会の会合に便利だった。尾前さんは結婚して
いて、女の子があつた。亡くなった先代に代わって、高弟の岡田栄造氏
(防犯会長) が後を継いでいた。正己氏は幼稚園舎から慶応大学卒だった。
田中稀一郎君は三田レコードクラブ所属で、会報にも音楽関係の文を多
く寄せていた。LPが出たところであつた。今でもLPからCDまで多く
のクラシックを収集している。

伊藤章彦君は眉目秀麗の大秀才で、麻雀をやっても、たちまち摸牌を
マスターした。講談社に入社して、何十年も会わないうちに、奥さんを
亡くし、後を追って亡くなったのは残念だ。

中村成克君は椎野そよ子さんの甥で、お母さんと椎野家に同居してい
た。若いが重量感のある青年で、伊藤君の妹(ドレメの先生)の美人と
結婚した。親交会で一番得した人だ。

牧野健三君は杉野利夫君と同期の幼稚舎、牧野ブラザーズは全部慶応であったが、戦前は屋敷の中のグラウンドで遊んでいて、門外不出だったので、戦後知り合った。親交会が野球に強かったのは、牧野兄弟が主力だったためであった。健三君も病気にならなければ、活躍しただろう。長兄の雄一さんが、ある試合で審判をされたが、ライオンのごとく威風堂々として、その判定に異議を申す者は一人も無かったのを記憶している。

竹島貞夫君は父君が亡くなり、学校を出て鉄の防錆の会社に入り、十三号に「鉄の錆を防ぐ話」を載せた。間もなくタクシーから家に入るところで蜘蛛膜下出血で亡くなった。

島田勇一君はダンスで東京都庁の競技会で優勝した名人であって、自宅のスタジオで会員はダンスの教授にあずかった。町会長もやり病気になり闘病の末亡くなった。

新福光次君は一番会報に書いた。甘い物語を得意とした。日本電建に勤めたことまでは分かっているが、消息不明だ。

岡野君も翠松閣において、親交会では随分活躍したが、翠松閣が壊され



親交会



てから消息不明だ。

尾前清子さんには、お宅で随分会議をやって、お世話になったが、夫妻とも亡くなった。

谷口保澄君、姉の喜美子さんと叔父さんの飯塚さんの庭は春は花が一杯で美しく、大学浪人中の野沢君が始終遊びに行ったようだ。

東條敦子さんは箱入り娘で、会合には出なかったが、英語の文章を寄稿し、会報一〇号の「水上のランタン・カーニヴァルと東洋の宗教」は力作である。

栗野誠治君も商売のかたわら、よく手伝ってくれた。途中で入会した林実君が登山家であったことを会報を読み返して思い出した。

夕陽会の概要

1 組織・名称

夕陽会の組織および活動は、

(a) 戦時中における隣組組織としての、夕陽会

(b) 戦後における町会、自治会としての夕陽会

戦中、戦後では、組織および活動は、大きく変わる。ここでは、主に戦後の組織・活動について述べる。

会の名称は、江戸時代の呼称である夕日（夕陽）が岡より、夕陽会とした。

2 テリトリー

夕陽会のテリトリーは、東京都品川区上大崎4丁目、西五反田3丁目の一部、上大崎3丁目の一部および目黒区下目黒1丁目の一部よりなる。1つの町会が2つの区に跨るのは、極めて珍しいことである。これは江戸時代、この土地が細川越中守武家地であったことによる。

3 会の目的

会の目的は次の通り。

会員相互の親睦、福利増進並びに防災防犯、衛生、交通、学務、土木、その他（会則第4条による）

4 会 則

別紙による。

会則の草案は、金武和男弁護士起案。

5 歴代の会長

夕陽会の歴代会長は、以下の通りである。

隣組組織の夕陽会

会 長 大 川 周 明

戦後の町会組織 夕陽会

初代会長 杉 野 繁 一

第2代会長 紀 脩

第3代会長 塚 田 剛 蔵

第4代会長 窪 田 正 男

第5代会長 嶋 田 勇 一

現 会 長 金 武 典 夫

6 理事及び役員

平成17年度現在の理事および役員を別表に示す。

夕陽会会則 (別紙)

- 第 1 条 本会は夕陽会と称す。
- 第 2 条 本会は品川区上大崎 4 丁目、西五反田 3 丁目、目黒区下目黒 1 丁目の各一部居住者を以って組織する。
- 第 3 条 本会の事務所は前条 2 条の町内に置く。
- 第 4 条 本会の目的は次の通り。
会員相互の親睦、福利増進並びに防火防犯、衛生、交通、学務、土木、その他
- 第 5 条 本会は理事若干名、監事 2 名を置き、役員の内互選により会長 1 名、副会長若干名、会計 1 名を選任する。
- 第 6 条 前条の役員は総会に於いて定める。
- 第 7 条 本会は会の運営上必要に応じ、相談役を置くことを得る。
- 第 8 条 役員任期は 2 年とし、ただし、再選を妨げず。
- 第 9 条 本会の総会を定時、臨時の 2 種とする。定時総会は毎年 4 月中に之を行う。
臨時総会は必要に応じ会長之を招集し、総会の議長は会長之に当る。
- 第 10 条 役員会は毎月 1 回之を招集す。
- 第 11 条 本会の諸経費は町会費及び寄附金を以って充当する。
- 第 12 条 本会の決議は出席会員の過半数の賛成に依る。
- 第 13 条 本会則を変更の場合は総会の議決を要す。
- 第 14 条 役員任期及び会計年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日迄とする。

附 則

- 第 15 条 本会則は決議の翌日から之を行う。
平成 9 年 4 月 23 日総会において、副会長若干名に改正。

夕陽会理事・役員（平成十七・十八年度）

（別表）

役 職	氏 名
会 長	金 武 典 夫
副 会 長	鴻 田 次 章
副 会 長	西 春 雄
副 会 長	佐 藤 至 弘
会 計	塚 田 晴 子
監 事	奥 村 一 郎
監 事	田 中 稀一郎
理 事	藤 井 清 一
理 事	植 木 寿 一
理 事	椎 野 開八郎
理 事	田 中 公 平
理 事	高 橋 昭 廣
理 事	杉野学園理事 杉 野 秀 子
理 事	マンション雅叙苑 管理組合理事長
理 事	マンション南目黒苑 管理組合理事長
理 事	ドレッセ目黒インプレスタワー 管理組合理事長
理 事	本多電機(株)社長
民生委員	堀 井 陽 子

地震対策（超要約）

東京『生き残り地図』によると、当地区は倒壊危険度、火災危険度ともに1で、もっとも危険度の低い地域のひとつに分類されている。すなわち、地盤がしっかりしておりかつ木造家屋が少ないのである。

しかし、電話不通・停電・断水・ガスストップというインフラの壊滅は避けられない。特に忘れがちなのは地震発生後のトイレ問題である。地域には貯水槽（100トン）が1つ、井戸が2つしかない。大を流すには最低5リットルの水が必要といわれており、ため置き、風呂の残り湯等の対策がある。水20リットル満タンのポリタンクの運搬はきついで、小さな運搬車があると重宝する。

水洗以外の選択（固形化剤の備蓄、庭に穴を掘る、……）も考えたいものだ。

- 自 助** ①水と食料3日分の準備。
②トイレ対策を各家庭で立案準備。
③建築確認が1981年5月以前の建物は、耐震診断と補強。

互 助 常日頃、向こう三件両隣に誰が住んでいるかを知っておく。

公 助 災害発生4日目以降しか期待できないことを忘れないように。

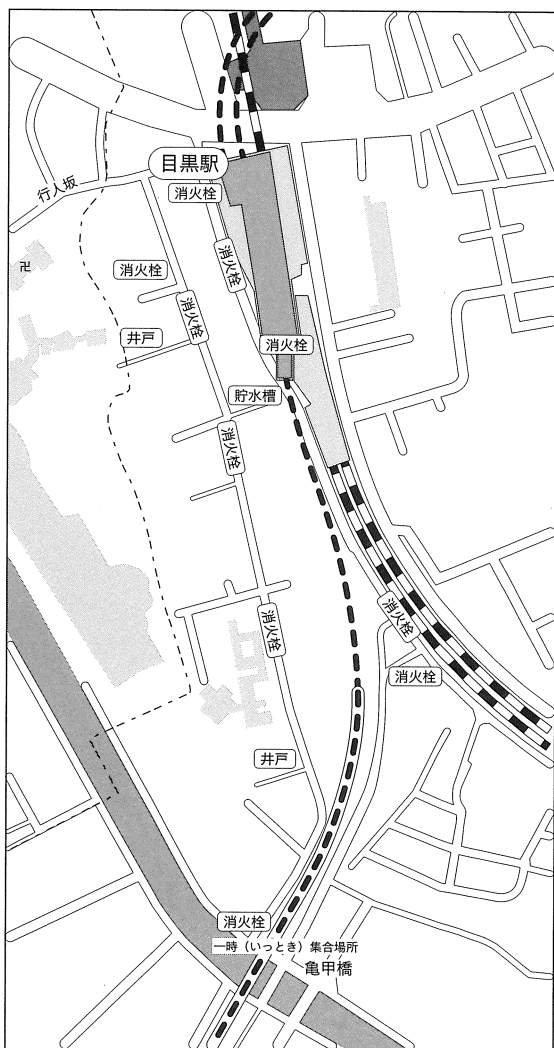
●自宅で暮らせない場合

【一時集合場所：亀甲橋】 → 【避難場所：第四日野小学校】

地震発生直後の行動チャート（東京都『いざというときのためのサバイバルマニュアル』より）

① 地震 発生	② 地震 直後	③ 5～10 分後	④ 10分～ 半日	⑤ 半日～ 3日	⑥ 3日 以降
自分の身を 守る	火の始末	家族の安全 確認	ご近所の安 否を確かめ てお互いに 助け合う	自分や地域 でしのぐ	生活を立て 直す

防災マップ



●編集主幹	奥	村	一	郎
●編集委員	金	武	典	夫
	西		春	雄
	佐	藤	至	弘
	塚	田	晴	子
	田	中	稀	一
	杉	野	秀	子
	牧	野	ゆ	み
	菊	地	公	平

2006年4月24日 第1刷発行

夕陽ヶ丘物語 ー文化と歴史の薫る町ー

編 集 ●夕陽会
印刷・製本 ●美研プリンティング

Printed in Japan ©夕陽会

無断転載を禁ず